

魅力あり希望持てる産業に

組織実増を勝ちとろう



松丸一雄委員長 開会のあいさつ



執行部を代表してあいさつする松丸委員長

第73回定期大会への参加ありがとうございました。このよ
うな状況のなかでの開催とな
りました。例年通りの運営は
できません。過去に例のない
開催となりますが、ご理解と
ご協力をお願いします。各ブ
ロックの会場、36支部の皆さ
んの力を合わせて大会を成功
させましょう。また、来賓の
方の参加はありませんが、メ
ッセージ等でお祝いの言葉
を頂戴しています。

さて、私たちは昨年1年、
建設現場の処遇改善、賃金引
き上げ、仕事確保、消費税増
税反対、暮らしを守り、社会
保障改善の阻止、平和と民主
主義を守る取り組みなど、組
合員、役員、家族の皆さん、書
記局の皆さんが一丸となり取
り組みをすすめてきました。

ご奮闘いただいたすべての皆
さんに感謝申し上げます。
昨年の運動では、働き方改
革と併せて現場の実態聞き取
り、事業所訪問と相談活動
を重視し、労働者供給事業に取
り組み、労働協約運動の第一
歩を踏み出しました。公契約
条例も広がりを見せ、建設キ
ャリアアップシステムの取り
組みも本格化しました。

増勢を目指した組織拡大は
春一番から春、秋の月間、そ
して年末最後まで奮闘をお願
いしたところです。全都での
実増を勝ち取ることはできま
せんでしたが、16の支部で実
増がなされたところです。増
勢した支部の経験を学び、今
年度も実増を目指し、取り組
みをすすめます。

また、昨年度は自然災害が
多く発生した年でありまし
た。台風15号、19号、大雨等
による大きな被害が出ました。
組合員の仲間にも被災され
方がいました。被災された皆
さんにお見舞いを、また、ポ
ランティア活動や募金などに
ご協力いただいた皆さんにお
礼を申し上げます。そして、
災害支援には建設職人、技術
者の役割が大切であることが
再認識されたところです。

今、建設産業を取り巻く状
況は大きな変化の中にあり多
くの課題を抱えています。賃
金については、設計労務単価
の引き上げがなされています
が、労働者の賃金は微増であ
り、ゼネコン各社の利益は依
然として確保されています。
4週8休についても休みが増
えても収入が減ってはどの意
味もありません。建設産業の

4週8休でも 収入減なし

御崎 誠人(南部B)
前川 進(西部B)
佐々木 建(多摩東B)
世並 佳史(多摩西B)
三角 幸太郎(多摩南B)
平野 隆之(多摩北B)
〈常任中央執行委員待遇〉
山本 繁樹(江東)
木村 潮人(江戸川)
中村 哲郎(西東京)
松広 高幸(練馬)
塩野 操(大田)
〈中央執行委員待遇〉
岡村 恭代(北)
〈会計監査〉
真木 泰久(足立)
山口 君彦(中野)
柴崎 憲一(西東京)
*任務分担は次号掲載予定

新中央執行委員会

- 〈中央執行委員長〉 中村 隆幸(杉並)
- 〈中央副委員長〉 松本 久人(江戸川)
- 佐藤 豊(目黒)
- 丸山 篤義(多摩・稲城)
- 渡辺 義久(三鷹武蔵野)
- 石川 信一(北)
- 島原 孝(足立)
- 〈書記長〉 小番 徹(北)
- 〈書記次長〉 渡邊 輝明(北)
- 北川 誠太郎(世田谷)
- 熊切 健二(杉並)
- 中原 收(小平東村山)
- 中宿 稔(三鷹武蔵野)
- 〈常任中央執行委員〉 石村 英明(府中国立)
- 芳井 武(葛飾)
- 小坂 剛(西東京)
- 後藤 英雄(葛飾)
- 佐藤 里志(渋谷)
- 福地 孝志(板橋)
- 上原 誠(練馬)
- 齋藤 誠(台東)
- 葛西 政之(大田)
- 横沢 勉(大田)
- 榎山 剛志(多摩西部)
- 五本木 宏晃(西多摩)
- 〈専従常任中央執行委員〉 中村 修一(足立)
- 三木 勉(多摩西部)
- 栗橋 宏(墨田)
- 黒木 強(多摩・稲城)
- 唐澤 一喜(練馬)
- 茂呂 裕一(江東)
- 田村 彰宏(世田谷)
- 沼口 剛(渋谷)
- 江成 道宏(江戸川)
- 〈中央執行委員〉 武藤 彰(足立)
- 津田 宗久(荒川)
- 及川 光太郎(葛飾)
- 奥村 歳久(文京)
- 寺山 邦裕(台東)
- 小島 明(墨田)
- 大木 栄一(江東)
- 堀川 昭義(江戸川)
- 野崎 邦治(板橋)
- 土橋 弘典(豊島)
- 渡辺 勝二(北)
- 福岡 忠行(練馬)
- 石井 正港
- 小林 紀久夫(品川)
- 井澤 典一(大田)
- 佐藤 忍(目黒)
- 伊藤 勝伸(渋谷)
- 秋元 正真(世田谷)
- 伊藤 賢司(新宿)
- 阿部 秀晴(中野)
- 鎗田 登美雄(杉並)
- 島村 新(三鷹武蔵野)
- 宗像 勇(狛江)
- 川口 敏彦(調布)
- 清水 政廣(多摩西部)
- 宮崎 透(西多摩)
- 鯉淵 勝也(小金井国分寺)
- 宮澤 和也(府中国立)
- 矢吹 一幸(八王子)
- 古怒田 忠(日野)
- 三橋 誠(多摩・稲城)
- 尾花 慎司(町田)
- 井上 清一(小平東村山)
- 前川 達夫(清瀬久留米)
- 唐鎌 昭二(西東京)
- 相山 昇司(村山和)
- *青年部より1人
- 栄 大翔(調布)
- *書記、ブロックより1人
- 早川 勝久(東部B)
- 釜谷 邦朗(江東B)
- 山岸 慎(城北B)

東京土建第73回定期大会 大会宣言

東京土建第73回定期大会は、新型コロナウ
イルスの感染予防において一部の日程と会場を
変更して開催し、1年間の闘いを総括するととも
に、総合5カ年計画の前進面及び課題を明らか
にしました。東京五輪以降、激動期をむかえる
建設産業の構造と変化への対応、建設産業の
民主化、建設従事者の多数派結集、現場と地
域、業界に影響を持つ強大な組織をつくるこ
とを目標に掲げ、労働運動と市民運動との連帯
で影響力を発揮し多くの成果を現場や地域で勝
ち取ってきたことは言うまでもありません。

しかし、国民的な要求や平和と民主主義を守
る運動において、安倍政権は政治の私物化・
隠微い・改ざんなど国民をあざむき、また消費
税増税等により日本経済は深刻な不況におちい
り、格差の拡大、社会保障は悪化をたどり、改
憲策動もはかられています。

今後、衆院解散・総選挙や7月都知事選挙
で平和と民主主義、仕事と暮らしを守るための圧
力的な世論構築と運動を強めていくことが重要
です。私たちの暮らしに向き合い寄り添う政治を
求めていかなければなりません。

第73回定期大会では、「要求運動と組織
建設を一体とした取り組み課題」が示されまし
た。私たちに必要な賃金・労働条件など諸要
求が実現されれば、建設産業は社会を維持し
担い手の確保ができる成熟した産業となる展望
が拓けてきます。また近年、自然災害が頻発
し復旧・防災活動においても私たちの役割は
明らかですが、建設従事者の減少と後継者不
足により地域建設産業の疲弊など厳しい状況も
あります。

基調報告には運動の前進、組織拡大・強化
をすべての仲間の力を活かし構築していくとあ
り、そのエネルギーは「団結の力」以外にない
と強調しました。

東京土建はこの「団結」の名のもとに結集し
未来を切り拓きます。

あらためて、建設産業の民主化運動をすす
める根幹として仲間が主体となる組織拡大運動
を全都で高め、5カ年計画の到達と課題の上に
立ち、2020年度は「4つの運動の柱」でたた
かいます。第一に政治課題・建設産業課題に
しっかり関わる組織づくり、第二に大衆的産業

民主化運動の前進と賃金引き上げの運動を交渉
で勝ち取るための組織づくり、第三に自治体運
動と町場での家づくりや地域に根ざす組織づく
り、第四に多くの仲間がつどい、つながりが広
がる元気な組織づくりの実践です。

私たちは建設従事者の仕事と暮らしを守り、
社会的地位向上のために、たたかって学び、
学んでたたかいます。たたかひの歴史の教訓
は70年以上続く東京土建の礎であり魂です。

建設業は平和でこそ成り立ち、そして現場
と業界や地域において組織力と影響力を高め、
人を活かし人が育つ民主的な明るい建設
産業の実現と私たちの仕事と暮らしと平和を守
るたたかひに全力を挙げます。大会スローガ
ンの「建設従事者の仕事と賃金と権利拡充へ、
組織の拡大強化に仲間の力を結実させ、建設
産業民主化運動と社会保障拡充運動を現場
と地域で大展開しよう。改憲阻止・消費税
減税をすすめる暮らしと平和を守ろう」という決
意のもと、東京土建は方針に団結し、団結の
力で課題を乗り越え奮闘していくことをここに宣
言します。